

件名	久慈市自立・分散型エネルギー供給スキーム設計業務 第3回検討委員会 議事録
日時	令和5年2月15日(水) 10時～11時30分
出席委員	大崎委員、久松委員、上有谷委員、高橋委員、若林委員、尾留川委員
場所	久慈市役所 3階 大会議室
資料	資料1. 第3回検討委員会資料
議事	議事1 進捗状況及び調査結果（第2回検討委員会の振り返り） 議事2 調査 a. 再エネ利用のオフサイト PPA 事業導入可能性調査 議事3 調査 a. 再エネ利用のオフサイト PPA 事業導入可能性調査 議事4 調査 b. オンサイト PPA 及びエコキュート導入可能性調査 議事5 まとめと今後の展開

1. 検討委員会の進行について

大崎委員の挨拶のあと、大崎委員を座長として議事を進行。

2. 議事1（進捗状況及び調査結果（第2回検討委員会の振り返り））

- ・事前相談は上位系統の連系制約有無、変電所の逆潮流発生有無等を確認するものであり、連系に必要な工事の内容、工期等は接続検討申込を提出いただき検討を行う必要がある（委員）
 - 旧山形村のエリアで小学校、中学校跡地で5か所の接続検討申込を別委託事業にて依頼し、確認中である。（事務局）

3. 議事2（調査 a. 再エネ利用のオフサイト PPA 事業導入可能性調査）

- ・ p. 3 の逆潮流の可否については接続検討申込を実施して頂きたい（委員）
 - 承知した。（事務局）
- ・ p. 4 の風力発電事業者の事業期間はどのくらいか。（委員）
 - 事業期間は事務局側では把握できていない（事務局）
- ・ p. 4 の風力発電事業者 A の通常接続の規模はどのくらいか（委員）
 - 一括検討プロセスと同じ程度と風力発電事業者 A からヒアリングしている。（事務局）
- ・ p. 5 の発電量とは現在発電しているものなのか（事務局）
 - 航空写真から想定した太陽光発電による発電量を想定したものであるため、推定量となる。
- ・ 工事費の参考費用はあるのか（委員）
 - 現状はない（事務局）

4. 議事3（調査 a. 再エネ利用のオフサイト PPA 事業導入可能性調査）

- ・ p. 16 について子メータ設置による差分計量（引き算）はできないのか（委員）
 - 資源エネルギー庁より太陽光発電 10kW 未満であれば取引が可能であるが、それ以外については不可とのことである（事務局）

5. 議事4（調査 b. オンサイト PPA 及びエコキュート導入可能性調査）

- ・ p. 18 の年間発電量は降雪を考慮しているのか（委員）
 - 日射量からの算定であり、降雪は想定していない。（事務局）

- ・ p. 18 のエネルギーコストは高いという認識であるがどうか（委員）
 - p. 17 のモデルで想定されるエネルギーコストであり、実際の費用については比較していない（事務局）
- ・ エコキュートを導入する必要性について伺いたい（委員）
 - 蓄電池価格が高く、灯油も近年高騰している。太陽光発電の余剰電力を活用することでエネルギーコストを抑制、また、再エネ由来の熱にすることで環境負荷を低減する目的でエコキュート導入を考えている。（事務局）
- ・ 今回の結果であれば売電した方が良いと感じる（委員）
 - ご認識の通りである。しかし、今回の試算で前提とした国の補助金及び交付金は一定量の自家消費が要件となる。やむを得ず余剰が発生する場合は売電可能であるが、売電目的の場合は交付対象外となる。（事務局）
- ・ p. 23 の事業期間の 20 年間とのことであるが、撤去費用は考えているのか（委員）
 - オンサイト PPA 事業ということで住居者とは別の事業者が設備を設置となるため、設備の責任については設置者（PPA 事業者）となる（委員）
 - 撤去費用は事業費として折り込んでいる（事務局）
- ・ 住居者の諸事情で事業途中での辞退をしたい場合、太陽光発電の撤去は可能か（委員）
 - そのリスクが考えられるため設置前には PPA 事業者及び住居者間で協議が必要である（事務局）
- ・ 住居（建物）に住まなくなった場合のオンサイト PPA 事業はどのように考えているか（事務局）
 - オンサイトの需要がなくなるため、オフサイト PPA としての活用を考えている。ただし、移設が発生する場合はその費用等を回収する必要があるため採算性が困難という認識である。（委員）

6. 議事 5（まとめと今後の展開）

- 文言の修正以外では特に意見なし。

7. 今回の協議会の総括

- ・ 課題があることを改めて認識した。需要家のメリットを導き出すことが必要と考える。（委員）
- ・ 引続き協力及び支援を行う。（委員）
- ・ 様々な課題もあるものの、久慈市が脱炭素に対して先行している点は大変素晴らしい点である。引続き岩手県としても協力をする。（委員）
- ・ 将来の子供達に対して良い環境を残すことが必要であることを改めて実感した。（委員）

以上